

令和6年度児童相談所・市町職員等(福祉司等) キャリアアップ研修(第2回)開催要項

1 目的

児童福祉司・市町職員等が児童虐待防止対策に関わる上で必要とされる、より専門的な知識を習得するとともに、関係機関との連携を図る上で必要なスキルを習得することを目的に開催します。

本研修では子ども・家族支援に役立つアセスメント等を中心に、支援方法について学びます。

2 実施主体 山口県

3 実施機関 社会福祉法人 山口県社会福祉協議会

4 受講対象者

児童相談所の児童福祉司、児童心理司、市町担当職員(児童虐待防止対策に関わる部署)等

5 定員

35人

6 日程、内容、演題及び講師

開催日	時間	演題・講師	
7 月 29 日 (月)	9:30～9:50	受付	
	9:50～10:00	開会	開講・オリエンテーション
	10:00～16:00	講義 ・ 演習	<p>「児童福祉現場における子どもたちの保護的・補償的な体験を考える」</p> <p>講師：児童心理治療施設みらい(和歌山市) <small>いび てつおみ</small> 施設長 衣斐 哲臣 氏</p> <p>児童福祉や社会的養護等の現場で出会う虐待等の逆境体験を強いられてきた子どもたちでも、一方でポジティブで保護的体験はあったはず。それを見つけ出し肯定的にエンパワーし、あるいは仮に見つけ出しにくければ新たに支援者との関わりの中で保護的体験を創造していく関わりは、子どもたちの逆境体験を乗り越える力となります。そんな肯定的で保護的な体験をアセスメントする支援の仕方について学びます。</p> <p>(昼食休憩は12:00～13:00を予定)</p>
	16:00～16:10	閉会	閉講・アンケート記入

7 会 場

山口県セミナーパーク 一般研修棟 研修室202

8 受講料

無料

9 申込手続

(1) 申込方法

「山口県社会福祉協議会福祉研修センター」のホームページ (<https://yg-fkc.com/>) からマイページにログインし、該当研修の申込フォームからお申し込みください。

※ 事前に所属単位での「事業者登録」が必要です。(既に登録済みの場合は不要)

(2) 申込受付期間

令和6年6月24日(月) ～ 7月15日(月)

(3) 受講決定

受付期間終了後に(1)で登録されたアドレスにメールでお知らせします。

定員超過等でやむを得ずお断りする場合もメールでお知らせします。

なお、申し込み状況はマイページ内の「研修申込状況」で確認できます。

10 食事

昼食は各自で準備するか、併設の食堂を利用してください。

11 個人情報の取扱い

申込フォームに記載された個人情報は、研修会の運営管理のみに使用します。

12 その他

(1) 自然災害等のやむを得ない事由により研修を開催できない場合は、前日の午後3時までにHP (https://yg-fkc.com) に記載しますので、前日に必ずホームページを確認してください。

(2) 欠席される場合は、研修前日までに必ず連絡してください。

(3) 研修当日に、発熱や体調が悪い場合は、研修への参加を控えてください。

(4) 遅刻する場合は、速やかに連絡してください。

(5) 研修当日は、各自でマスクを持参してください。

13 申込・問合せ先

社会福祉法人山口県社会福祉協議会 福祉研修部(福祉研修センター)

担当：伊藤

〒754-0893 山口市秋穂二島1062 (山口県セミナーパーク内)

T E L : 083-987-0123 F A X : 083-987-0124



<講師プロフィール>

衣斐 哲臣（いび てつおみ）

現在、和歌山市の児童心理治療施設みらい施設長／和歌山大学教職大学院の非常勤講師。

1980年関西学院大学の心理学科を卒業後、総合病院の精神科で15年間、臨床心理士として勤務。その後、和歌山県職員として児童相談所に20年間勤務。2015年度から和歌山大学教職大学院教授として8年間勤務。2023年度から現職として現在に至る。

専門は、臨床心理学、児童福祉で「家族支援」「児童虐待対応」「トラウマ臨床」「教育と福祉の連携」などを中心に対人援助に携わってきている。

著書に「子ども相談・資源活用のワザ～児童福祉と家族支援のための心理臨床～」（金剛出版,2008年）、「心理臨床を見直す“介在”療法」（明石書店,2012,編著）、「子ども・家族支援に役立つアセスメントの技とコツ」（明石書店、2015、共著）、「ブリーフセラピー入門～柔軟で効果的なアプローチに向けて」（遠見書房,2020,共著）「日本の児童相談所」（明石書店,2022,共著）など。